

# 新大広報

2013年 冬号  
No. 189

[特集] よろっとコタツを出ましょーか?

## 新潟マップwith新大



【連載】

新大図鑑

学科のもっと知りたい そこんトコロ!

学生Interview!!

チャレポ!!(Challenge&Report)

ひとりdeli

新大広報 編集室便り



新潟大學

# よろっとコタツを出ましょうか? 新潟マップ with 新大

皆さん、新潟大学が地域との繋がりをたくさん持っていることを知っていますか？  
今号の特集では新潟県内の大学関連施設や大学と関わりのあるスポット、  
さらに新大生が教える新潟のお勧めを大調査し、マップにまとめました！  
キャンパスにいるだけでは見えない大学と地域の繋がりを発見しちゃいましょう！



## 1 朱鷺・自然再生学研究センター

研究推進機構の施設。「新潟大学超域朱鷺プロジェクト」としてトキの野生復帰やそれを支える自然環境の整備、地域づくりに取り組む。この施設がある佐渡市は、平成23年6月、日本初のGIAHS（世界農業遺産）に認定された。



## 2 理学部附属臨海実験所

年間を通じて20m以上の透明度を誇る佐渡の海に生息するさまざまな海洋生物の生態や行動を研究している。平成25年8月、文部科学省「教育関係共同利用拠点」に認定。新大の学生に加えて、全国の大学生が実習に訪れる。



## 3 糸魚川世界ジオパーク

平成21年8月、日本で最初に認定された世界ジオパーク。理学部では公開講座の化石採集などを通じて大地の公園の魅力を紹介する。恐竜化石の発見を目指してフォッサマグナミュージアムとの共同調査を実施中。



## 4 村松ステーション

乳牛や羊の飼育、畑作物の管理などを通じて農業生産について学ぶことができる農学部附属フィールド科学教育研究センターの施設。

★ スポット(P.4アンケート結果ページへ！)

## 佐渡ステーション

## 理学部附属臨海実験所

## 佐渡★

新潟にいるからには一度は行っておきたい

## 新潟大学 五十嵐キャンパス

## 弥彦

四季折々の自然と温泉が楽しめます

## 寺泊

獲れたての海産物が食べられます

## 高田公園

高田城と桜のショットは最高に絵になります

## 上越市

## 糸魚川市

## 番神岬(柏崎市)

## 小国町森光集落

## 雲洞庵(南魚沼市)

## 高田花火

全国的に有名な長岡花火は圧巻です！

## 長岡市

## 附属長岡小中学校・幼稚園

## 長岡花火

## 西蒲区

## 西蒲区

## NIIGATA CITY

皆さん、新潟大学が地域との繋がりをたくさん持っていることを知っていますか？  
今号の特集では新潟県内の大学関連施設や大学と関わりのあるスポット、  
さらに新大生が教える新潟のお勧めを大調査し、マップにまとめました！  
キャンバスにいるだけでは見えない大学と地域の繋がりを発見しちゃいましょう！

## 旭町キャンパス

旭町には、学生が学ぶキャンパスだけでなく充実した研究施設も揃っている。

## ■脳研究所

日本で唯一の脳の研究に関する国立大学研究所。約42万点もの膨大な脳疾患標本を有する研究所（全国共同利用・共同研究拠点）として世界にも注目されている。

## ■医歯学総合研究科附属腎研究施設

基礎的及び臨床的な観点から腎臓病研究を専門に行う特別研究施設として設置され、現在、腎臓病研究の国内外研究拠点を目指している。

## ■アイソトープ総合センター

放射性同位元素（RI）を用いた研究やその安全な取扱いについての教育・訓練を行う施設。福島第一原子力発電所事故被災地での放射線測定も実施している。



## 笹川流れ

## 村上市

## 万代シティ

駅から近くでショッピングに最適

## 古町

多くの店が立ち並び、散策すればお気に入りのお店が見つかるはず

## マリンピア日本海

海の生物を見に行こう！

## 旭町キャンパス

## 中央区

## ビッグスワン(アルビプロジェクト)

## 西区

## 西蒲区

## NIIGATA CITY

## 西蒲区

## NIIGATA CITY

新潟大学には、地域と大学の架け橋となる施設や活動を行うサークル等が数多くあります。今回は、地域の方も利用できる施設“ときめいと”と、地域のプロスポーツチームと新大生をつなぐ“アルビプロジェクト”で活躍している学生たちを紹介します!

## 「ときめいと」

みなさん、ときめいとを利用したことはありますか？ときめいとは、誰でも利用することができる大学施設です。新潟駅の南口に直結しているPLAKA1の2階にあり、アクセスは抜群です。そんなときめいとを実際に広報スタッフが利用してきました。ときめいとでできる“こんなこと”を要チェック！ぜひ利用してみてください。



**こんなこと①**  
帰省しようと思ったのに、JRの学割の発行を忘れちゃった  
⇒パソコンコーナーで！

学務情報システムの利用はもちろん、JRの学生割引証、健康診断・在学・卒業見込等の各種証明書の発行ができます！土・日・祝祭日も利用できるので、帰省や就職活動でうっかり忘れてしまった時に大助かりです。



**こんなこと②**  
部活やサークルなどで展示会をしたい  
⇒多目的スペースで！

広い空間はアイディア次第で用途はさまざま。展示用のボードも貸し出しています。新潟駅からのアクセスも良いので、地域の人向けイベントを開催できます。取材当日は、人文学部の講義紹介の展示をしていました。

## 「アルビプロジェクト」

今年度、新潟大学アルビレックスプロジェクト（アルビプロジェクト）が発足しました。地域を代表するプロサッカーチームである「アルビレックス新潟（以下、アルビ）」を多くの新大生に知ってもらう活動をしているサークルです。東北電力ビッグスワン（2014年1月からデンカ・ビッグスワンに変更）で行われる試合の観戦ツアーを企画したり、新大ローソンと協力してチームの紹介コーナーを設置したりする等、活動の幅を広げています。

代表の阿部大志さん（教育学部3年）は、大学入学前から熱烈なアルビファンです。設立の経緯について、「新潟の大学なのに、アルビのサポーターが少ないと感じていた。地元のスポーツチームを知つてもらうことで、地域を盛り上げていく新大生の団体があつてもいいと考えた」と熱く語ります。



代表の阿部大志さん

「新大には県外や海外の出身者が多くいる。アルビをきっかけに、新潟を好きになってほしい」と、メンバーは口を揃えます。単なるサッカーチームの応援団ではなく、地域と新大生を結ぶサポート役として、アルビプロジェクトは活躍しています。



▲ビッグスワンの前にて ※2013年8月撮影

あなたにとっての新潟の1番は？

## にいがたい3いろランキング

新大生に  
聞きました！

新大生にとっての新潟の見どころやイチオシを知るためにアンケート調査を実施し、118名（県内出身者62人、県外出身者56人）の方にご回答いただきました！スポット、お土産、食べ物…さて、あなたが選ぶ新潟の1番はランクインしているでしょうか！？（筆記式アンケート、各項目一つずつ回答、大学院生を含む）

### スポット

**市内**  
1位 マリンピア日本海…19人  
内訳 ●県内出身者14人 ●県外出身者5人  
県内出身者にとってのダントツ1位！  
県外の人も行ってほしい。

2位 ▶万代周辺（万代橋、万代シティなど）…18人  
近いし気軽に買える  
1日いても飽きない。（入3・女）

3位 ▶古町周辺…10人

今年リニューアル  
オープンしてすぐ  
きれいだった。  
(医1・男)

**県全域**  
1位 佐渡…14人  
内訳 ●県内出身者4人 ●県外出身者10人  
県外出身者にとって佐渡はとても魅力的な  
ようです！

2位 ▶長岡（長岡花火、越後丘陵公園を含む）…10人  
3位 ▶寺泊、高田公園…各6人

金山もあるし、トキ  
もいる！ 海産物が  
おいしい！（人1・女）

高田公園は、春  
は桜がきれい  
で、夏は蓮、秋は  
紅葉、冬は雪で  
一年中楽しめます^^(教3・女)

**食べ物**  
1位 お米（コシヒカリ）…22人  
やっぱ新潟といえれば米！  
(人3・男)

2位 ▶タレカツ…21人  
3位 ▶イタリアン…13人

小さい頃から慣れ親し  
んでいた。たぶん食べ  
盛りの男子高校生が好  
きそうな味（人3・女）  
ソースかつより  
断然おいしい。  
(工院2・女)

●やはり新潟といえればお米！ 堂々の1位です。しかし、タレカツも僅差で2位と奮闘。そして3位のイタリアンですが、名称をナポリタンと勘違いする人も…。B級グルメなのは都市名ではなく、国名の方です！

**ちなみにもどろき**  
1位 お米（コシヒカリ）、イタリアン…各9人  
イタリアンがお米と並び1位！

3位 ▶タレカツ、ボッ波焼き…各6人  
ボッ波焼きもご当地グルメとして欠かせませんね。

**お土産**  
1位 箕団子…31人  
生地だけで食べ  
てもとってもおい  
しい。（農2・女）

2位 ▶日本酒…30人  
3位 ▶柿の種…14人

内訳 ●県内出身者3人 ●県外出身者11人  
県外出身者にとって柿の種はやはり新潟を代表するお菓子（お土産）のようです。

●箕団子と日本酒のツートップが全体の約半数を占める結果に。3位も含め、定番の人気は盤石の模様。新潟で生産される洋なし“ル・レクチエ”や、伝統的な工芸品である“猫ちぐら”を書いてくれた方もいました。

**有名人**  
新潟といえばこの人！ という有名人も  
挙げてもらいました。

1位 小林幸子さん  
渡辺謙さん…各21人

3位 ▶田中角栄さん（故人）…14人

●日本全国に知られる  
二人が同着1位！ この  
二人に知名度で勝る  
者無しですね。



# 学科Ⅳ もっと知りたい そこんトコロ!

データで知ろう  
理学部数学科の  
そこんトコロ!

## 1.専門授業

- 代数入門
- トポロジーなど

## 2.数学科だから取得できる免許・資格

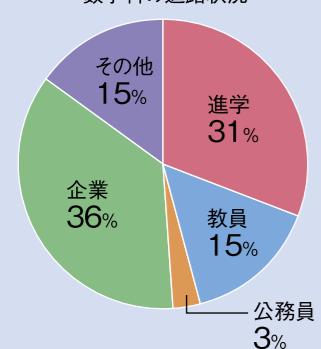
- 教員免許中等学校教諭1種(数学)
- 高等学校教諭1種(数学・情報)
- 学芸員(資格)

## 学生コメント

多くの人がとっています。一学年40人いますが、そのうち30人はとっているかもしれません。

## 3.卒業後の進路内訳

(理学部HPより)  
平成24年度卒業生  
数学科の進路状況



## 学生コメント

今年の4年生は特に大学院に進学する人が多いそう。過去最多だといわれています。

ちなみに… 数学科のレポートは他学科と違い文章を書くレポートはありません。ほとんど数式なので手書きとなるそうです。

# 理学部数学科

## 数学科はこんなトコロ！

私たちの学科は、理学部の他の学科と比べて実験と研究室配属がないのが一番の特徴です。1年次は必修科目で数学の基礎を学び、2年次からは選択科目だけになり(4年次の「数学講究」を除く)自分の目的に合わせて選びます。数学の他に情報の授業があり、その中には、プログラミング演習、デジタル表現実習といった授業があります。人数は40人。中学・高校での一クラスくらいの人数なのでまとまっていてみんな仲がいいです。

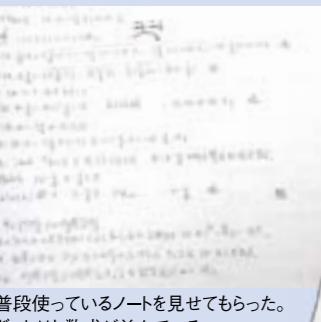
## 勉強を通して身についたこと

「感情的にものごとを見定めるということはなくなりました。何かをやるにしても自分の中で優先順位を決めて行うようになりました」と小高さん。「数学に関係なく普段から細かいことに気をつけるなど注意深くなりました。また、まず理由を考え、次に結果を思い浮かべる、というように順序づけて考える論理的思考をするようになりました」と川上さん。二人とも数学科で身についた論理的な考え方、理学的な考え方を普段の生活に表れているようだ。

## 卒業後の進路について

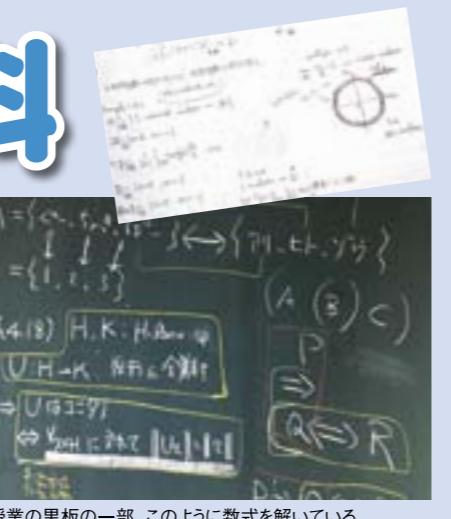
二人とも大学院に進学することを予定だ。「高校の教員を目指しています。数学が苦手な人が多いけど、そういう人たちが、いつか楽しさを感じて学んでいてよかったと言われるようになりたい」と川上さん。

小高さんは、進路はまだ検討中で、語学留学にも行ってみたいとのこと。



普段使っているノートを見せてもらった。  
ぎっしりと数式が並んでいる。

川上 泰史さん  
(4年)



ある授業の黒板の一部。このように数式を解いている。

## 印象に残っている授業

### 【グラフとネットワーク理論】(小高さん)

グラフ理論の基礎を学ぶ授業。点と線でできている図形(グラフ)の色分けをしたり、サイクロの隣り合った面を違う色になるように塗り分けたりします。ただ計算をするという、いわゆる数学の授業ではなく、今までやってきた数学とは違う新しい分野の数学でした。

### 【位相空間論】(川上さん)

微分・積分の延長のような授業。今までの定義そのものを考え直したりするので、高校数学での微分・積分とは違い、計算をして求めた解答が数字ではなく文字や記号ばかりだったりします。数字は問題の番号や添え字くらいしかなく、あまりにも数字がないので驚きました。

二人とも、数学科のどの授業も今までやってきた高校数学と違い驚いたと語ってくれた。数学科で学ぶ数学は、ただ計算するのではなく法則が成り立つための理論など新しい分野の数学のようだ。



オダカ やスナ  
小高 晏奈さん  
(4年)

新潟大学にはさまざまな学部学科があります。その中で今回は理学部数学科と工学部化学システム工学科の学生にお話を伺いました。数学科ならではの論理的な考え方、化学システム工学科の2つのコースは学ぶことは違ってもやがてつながってくるという化学の奥深さなど、興味深い話を聞くことができました。

# 工学部 化学システム工学科

## 化学システム工学科はこんなトコロ！

私たちの学科では、主に化学が関連する分野で化学を応用した工学を学んでいます。2年生の後期から応用化学コース、化学工学コースの2つに分かれてより専門的に学びます。応用化学コースは実験が多く物質の合成などの能力を養い、化学工学コースは材料の開発やシステム開発の能力を養います。学科の人数は80人、各コース40人ずつになります。

## コースごとにどんなことを学んでいるか

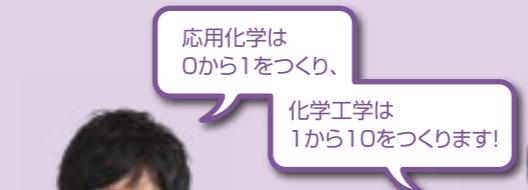
### 【工学リテラシー】

1年前期から、学生実験が始まるそうだ。いくつかのグループ分かれて課題(実験)に取り組み、最後にパワーポイントを用いて発表をする。磁石にくっつ液体の生成や、混合液の分離、薬品の生成などを行ったとのこと。「大学にも慣れていない、学科の人とは知り合ったばかり、専門的なことは何もわからないと不安ばかりでしたが、それでも入学してすぐに専門的なことが出来て楽しかった」と風間さん。「初めて大勢の前で課題発表をするのは、準備も大変で、すごく緊張した」と松浦さん。

入学してすぐ白衣を着たことが大学生らしくてよかったですと二人とも笑いながら話してくれた。

## 卒業後の進路について

二人とも学んだことを活かして、研究に励みたいとのこと。4年生の風間さんは大学院に進み、生物に作用する有機物の合成の研究を継続したいとのこと。3年生の松浦さんは、スポーツ経験を活かして、スポーツと化学工学の融合を目指す研究がしたいとのこと。例えば、バスケットシューズのクッション素材の開発などをしてみたいと語ってくれた。二人とも化学を応用し、よりよいもの・新しいものを作り出したいと話し、その意気込みは頼もしかった。



カザマ ユウキ  
風間 祐輝さん  
(応用化学コース4年)

マツウラ ユキタカ  
松浦 徹昂さん  
(化学工学コース3年)

データで知ろう  
化学システム工学科の  
そこんトコロ!

## 1.専門授業

- 材料プロセス工学
- 無機合成化学 など

## 2.化学システム工学科だから取得できる免許・資格

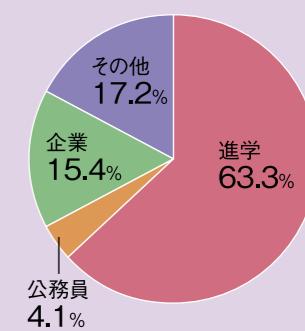
- 教員免許・高等学校教諭1種(工業)
  - 技術士補(JABEE認定)
  - 危険物取扱者・甲種
- ※受験資格が与えられます。

## 学生コメント

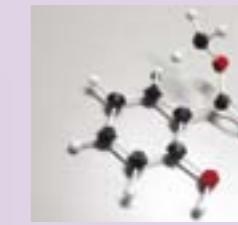
化学システム工学科は工学部の他の学科よりも化学に関する授業をおこなっているので危険物取扱者・甲種の受験条件を満たしやすい。そのため、化学システム工学科の学生がよく受けれる試験です。

## 3.卒業後の進路内訳

(化学システム工学科パンフレットより)  
平成24年度卒業生  
化学システム工学科の進路状況



ちなみに… 実験で合成する分子を、モデルキットを使って組み立て構造を確かめる。キットは一人一人購入しているため、この学科の学生は自前のキットを持っているのだとか。



湿布などの成分で有名なサリチル酸メチルの分子モデル。分子構造のどの部分がどんな反応をするかなど考えたりするそうだ。

# 自分の 学生 Interview!! 居場所

# aori

## 「人との交流」それも目に見えない作品

大学院教育学研究科  
教科教育専攻美術教育専修1年  
**川口 薫**(カワグチカオリ)  
福島県郡山市出身。内野でのデート  
プランを作ったほど内野が大好きだ  
そうです。



1



2



3

QUESTION >>>

### ● 新大の好きな場所…「教育学部棟の中庭」

中庭が四角に造られていて、空を見上げると額で切り取られているように見えてとてもきれいなんですよ。

— 学生、教授、内野町の方などと協力して創りあげた「うちのDEアート」の企画・運営を通して楽しかったことを教えてください。

新しい人と出会えたことや、自分が頑張ってやりたいと思ったことに周りが協力して応えてくれたことはとても嬉しかったですね。

— 具体的にどんなことを試みたのですか?

「みんなでうちのDEアートをやっている」という一体感を深めたくて、開催前の準備・企画から開催中の運営・管理まで地域の方と一緒に行ったことですね。今まででは大学

だけで行っていましたから。一緒にすることで、内野町の良さを地域の方の目線で伝えていただけるだけでなく、新しく自分の住んでいるところの良さを見つけることにも繋がったと思います。

— その試みの中では大変なこともありましたか?

そうですね、すごくたくさんありましたが、いろいろな人と間に立って連絡をとったり、お願いをしたり、失礼のないように気をつけっていても失敗してしまって謝りに行ったり…、そういうところは辛かったです。でもそんな時、地域の方が助けてくれたので、辛かったけどその分やってみてよかったですと思えるようになりました。

— 地域の方との関わり方で、川口さんなりにこだわったところはありますか?

学生の力だけでは実現できなくて困っていることは「困っている」と積極的に伝えました。地域の方は私たちよりも経験豊富なので、わからないことは聞いて、できないことは「お願いします」と正直に言い、協力をしてもらいましたね。

— 関わりを持っていくことで地域の方との関係に変化はありましたか?

地域の方がより積極的になってくださいました。今年は「一緒にイベントをやりたい」と言ってくださる方もいたんですよ。大学と一緒にイベントをやることは、地域の活性化にも繋がるということが浸透してきたのかなと思います。平成13年からずっと続いてきたイベントなので、これからも続けていきたいですし、私たちも地域の方と

もっと一緒に活動していくことが大切だと思っています。

— 地域の方と協力してこのイベントを行ってよかったことは何ですか?

地域の方がアートを理解してくださり交流できるようになったことです。最初は地域の方に「よくわからないから協力できない」と言われたこともあったのですが、少しずつ交流を深めていくことで「ここは協力できるよ」と言っていただけにならうよになりました。私たちの一番の思いは「アートを身近に感じてもらう」ということです。今年は地域の方からたくさんの協力をいただいたので、これからもっと地域と大学が交流するイベントになっていって欲しいですね。

— このイベントの企画・運営をやってみて川口さん自身どう感じましたか?

活動を始めて最初の頃は、自分ひとりでは何もできないな、と思うことが多かったです。思ったほど自分は何も知らないし、できないし、周りの人に支えられているんだな、ということは本当に実感しましたね。こうやって一つのイベントを学年の違う人、教授や地域の方々と一緒に作り上げるのは本当に貴重な経験で、自分の財産だと思っています。

— それでは、最後に新大生に向けて一言お願いします。

地域に出て、知らない人や知らない場所に出会うことはとても素敵なことです。ぜひ、皆さんの足で地域を巡ってみてください。

1 : 学生実行委員と内野町の皆様(写真2のカフェにて)

2 : ガレージを再生したカフェ

3 : 地域の方の作品

インタビューを  
終えて  
スタッフの感想

地域交流の素晴らしさを話してくださいました。川口さんは、地域で活動することの大切さやおもしろさが伝わってきました。皆さんも、地域のイベントなどに足を運んでみていかがですか? 自分にとってプラスになるものが見つかるかもしれません。

# チャレポ!!

このコーナーは、新大広報学生編集スタッフが新大の部活・サークル活動を体験し作成した、チャレンジ精神あふれるレポートである!!  
今回は農業系サークル「まめっこ」へGO!!  
農業初体験の新大広報学生編集スタッフが、イモを掘る!!

## まめっこ

秋晴れの空の下、農学部棟裏の圃場<sup>ほじょう</sup>でサツマイモの収穫を体験させていただきました!!



① この畑は今年新たに耕したそうです。初めての収穫を迎えます。どきどき!!

② まずはツルを鎌で刈り、ビニールをはぎ取ります!!



③ サツマイモ発見!!



④ 傷つけないように優しく掘ります!!



⑤ 全体が見えてきたら引っこ抜きます!!



⑥ こんなに大きいのが採れました!!

【主な栽培作物】  
春…●レタス●キャベツ●ほうれん草  
夏…●茄子●ピーマン●キュウリ●トマト  
●トウモロコシ  
秋…●大根●ブロッコリー●野沢菜  
●白菜●サツマイモ  
冬…●椿油づくり

⑦ これは今日収穫したほんの一部です。  
数週間乾燥させるとおいしくなるそうです!!

**スタッフ感想**  
作業は体験してみると意外と大変でした。まず土が固い! サツマイモの姿が見えてもなかなか掘り進められません。そして引っこ抜くのにも一苦労。しかし何とか掘り出したときの達成感はひとしおです! スーパーで見かける野菜は、このような苦労を経て店頭に並ぶのだと実感しました!



スタッフ評価  
1…まったく 2…少し 3…ふつう 4…かなり 5…はげしく

### Report

### Interview



●サークル代表 3年  
村田 誠さん



●サークル副代表 3年  
佐々木 剛さん

Q.活動日と人数を教えてください。  
村田●部員は約40人で、毎週土曜に活動しています。毎週水曜に行う「まめ会」では、畑や作物の様子を報告したり、行事の計画を立てたりします。佐々木●農学部生ばかりだと思われがちですが、他学部生もいます。男女比は半々です。

Q.活動場所、活動内容を教えてください。

村田●農学部棟裏の圃場や、赤塚と新通の農家の方から畑をお借りして活動しています。土づくりから始めて様々な野菜を育て、収穫しています。大学構内の椿から椿油を取って商品としてイベントなどで販売もします。佐々木●畑をお借りしている農家の方が開催する、感謝祭と収穫祭に毎年参加しています。また新潟大学社会連携フォーラムへの参加や、大学周辺で行われる農業体験のお手伝いといった地域に結びついたイベントに関わっています。

Q.苦労することや工夫していることはありますか?

村田●自然が相手なので野菜が良く育たなかったり、虫がついたりすることです。防虫ネットの設置や肥料の配合比率を変えるなど、試行錯誤を繰り返しています。佐々木●代々まめっこは無農薬栽培で、今年はトウモロコシを生で食べることもできました。

Q.まめっこの魅力は何ですか?

村田●実際の農業に触れられることが魅力だと思います。野菜を作る苦労に少しでも目を向けてもらえばいいなと思って活動しています。

佐々木●みんな仲が良く居心地がいいことです。農作業をするときも一体感があり、野菜作りから食べるまで楽しいです。

農業系サークル「まめっこ」は、学部・学年を問わず様々なメンバーで活動を行っています。主な活動は自分たちで野菜を育て、収穫して味わうことです。農業を通して地域の方々と積極的に交流を深めながら、農業と向き合い、野菜とともに日々成長しています。

【HPアドレス】  
<http://mamekko-blog.jugem.jp/>



# ひとり\*deli

\*delikatesse(独)=美味しいもの



お手軽! のつべ風お吸い物

新潟にいる間に  
新潟の郷土料理を作りたい



卒業後  
新潟を離れる  
4年生の漆館くん

### のつべの地域性

のつべは、地域や食べる場面によって切り方が変わります。例えば蒲原地区(新潟市中央区)では、祝い事の際には短冊切り、お葬式などの不祝儀の際には乱切りや三角切りにするとされています。また材料の面でも、祝い事の際にはイクラをのせ、不祝儀の際には油揚げをいれるという地域もあります。地域によってさまざまな味や見た目を楽しむことができます。

参考図書『日本の食生活全集15 新潟の食事』  
出版元:一般社団法人 農山漁村文化協会

### コラム

#### 新潟の郷土料理

郷土料理は普段食卓に並ぶものから祝い事のときに食べるものなど全国各地にさまざまなものがあります。新潟にも、三角ちまき、笹団子、へぎそばなど多くの郷土料理があります。今回紹介する「のつべ」は、野菜がたくさん食べられて栄養満点の料理です! 難しそうにみえて、実は意外とお手軽に作れるんです。寒い冬は、おうちであったか郷土料理を作つてみてはいかがでしょうか?



## 編集室便り

今回の編集室便りも盛りだくさん! 学生インタビューでお話を伺った「うちのDEアート」をスタッフが実際に巡り、その一部を紹介します! さらに今号から新たに加わった新大広報学生編集スタッフに突撃インタビューをしました!

**うちのDEアートに行ってみました!**  
～めぐらめぐる内野町～

今回の編集室だよりは10月に開催された「うちのDEアート」をピックアップしました。2年に1度開催される「うちのDEアート」は今年で7回目。今年は「めぐらめぐる」をテーマに内野町や内野町の歴史を巡るような作品を学生と地域の方と一緒にイベントを作り上げていきました。新大広報学生スタッフも実際に作品に触れ、体験しました。

内野町を巡り歩いて出会ったのは、かわいいらしい屋台「進め!ベジックス」でした。内野中学校美術部の生徒と協力し、内野町の特産の野菜をモチーフに作ったそうです。

「わくわく王国」では、大人から子どもまで楽しめる企画が目白押し! スタッフも童心に帰つしめる企画になりました。王様の部屋の王様になりきってきました。王様になりきって、記念撮影もさせていただきました!

夕方の内野跨線橋下では映像作品の上映も行われていました。暗くなった空に明るい空の映像が映えます。映像を見ていてもきれいですが、シルエットで楽しむこともできる作品です。

**卒業修了制作展情報**  
新潟大学教育学部 芸術環境創造課程表現コース・学校教員養成課程教科教育コース 美術教育専修・大学院教育学研究科教科教育専攻美術教育専修学生による卒業修了制作展  
●日時／平成26年1月27日～2月2日 9:00～17:00※初日13:00～17:00 最終日9:00～15:00 ●場所／新潟県民会館3FギャラリーA

## 新! 学生編集スタッフ紹介

今号から新たに学生編集スタッフに加わったメンバーに突撃インタビュー!  
意外な表情が見えてくるかも…!?

- Q①自分を色に例えると何色ですか?
- Q②冬といえばおでん! 好きなおでんの具は?
- Q③スタッフとしての意気込みをどうぞ!

【記事】小林

伊藤 伸也(イトウ シンヤ)

- ①青: この色が好きなのと自分は「静」か「動」で言うと「静」の人間なので。
- ②糸こんにゃく
- ③皆さんに「面白い」「次号も楽しみ」と思ってもらえるような広報を目指して頑張って行きたいと思います! 今号からよろしくお願いします!

安孫子 陽一(アビコヨウイチ)

- ①グレー: 気の持ちようが日によって変わるので…あと、優柔不断なところがあるから。
- ②はんぺん
- ③皆さんに新大の魅力を分かりやすく伝えられるよう、そして印象に残るような広報誌が作成していくように、精一杯頑張りたいと思います! これからよろしくお願いします(^^)

櫻井 直道(サクライ ナオミチ)

- ①青: 何なくこんな感じかな~と
- ②卵
- ③広報活動に関わるのは初めてですが、新潟大学の魅力を伝えられるように精いっぱい頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひします。

土谷 翔太(ツチヤ ショウタ)

- ①灰色: 白黒はっきりできないうから(優柔不断)
- ②大根
- ③まだまだ先輩方の力に頼りっぱなしですがこれから新大広報の一員として頑張ります!

千葉 麻子(チバ アサコ)

- ①灰色: 何かと中途半端な人間かつよく着る服の色だから
- ②もちきんちゃんと牛すじとよく染みた大根
- ③取材や写真撮影、記事としての原稿作成などなど、初めての体験ばかりで不安な反面、楽しくもあります。これから精一杯頑張ってやっていけば、と思っています。

佐藤 夏樹(サトウ ナツキ)

- ①茶色: 友人に言われたため
- ②大根
- ③まだまだ稚拙な文章しか書けませんが、先輩方をしつかり見習って魅力的な文章表現ができるように頑張ります。取材も楽しく頑張ります。

大西 瑛子(オオニシ エイコ)

- ①水色: 小さい頃から何故だか好きです。
- ②大根!
- ③今号は個人的に忙しい時期で、他のスタッフさんに迷惑をかけましたけれど、これからも自分なりに新大広報に貢献できるよう活動ていきます。今後ともよろしくお願いします!

新たなメンバーが加わった新大広報  
これからもよろしくお願いします

今号の表紙の写真

心優しい保健室の先生を目指します!

10月19、20日の新大祭において、教育学部棟では、簡単な健康チェックができるユニークなカフェが開店していました。新潟大学養護教諭特別別科(別科)による企画です。別科とは、看護師の資格を持った人を対象に、いわゆる「保健室の先生」を目指す1年間のみの課程です。全国的にも大変珍しく、各地から学生が集っています。38人、別科のみんなで盛り上がる最初で最後の新大祭。手探りで作り上げた会場には、ワクワク感が満ちていました。



新大広報の表紙を飾りませんか!?

新大広報では、表紙に出ていただける新大生を募集しています。仲の良い友達、部活・サークルの皆さんで一生に残る新大での思い出をつくりませんか!?  
学生編集スタッフが撮影行きます!  
応募は右のQRコードから新大広報HPまでアクセス! HP内のメールフォームより  
①学部・学年・学籍番号・氏名  
②「表紙スナップ写真希望」と書いて送信してください。  
たくさんのご応募お待ちしています!



# 編集後記

新大広報189号をご覧いただきどうもありがとうございます。今号から編集長を務めます、小林です。今号の特集では新大生にアンケートを行いましたが、いろいろな回答があつて面白かったです。新潟県出身の私も知らない情報もあって新潟の広さを実感しました。今号も情報が盛りだくさんの新大広報189号!帰省の際は家族が集まるコタツなどにそっと置いてみてはいかがですか?

新大広報編集長 小林 由依

## 【学生編集スタッフ】

安孫子 陽一(医学部1年) 伊藤 伸也(経済学部1年) 大西 瑛子(人文学部1年) 櫻井 直道(人文学部1年) 佐藤 夏樹(人文学部1年) 千葉 麻子(人文学部1年)  
土谷 翔太(理学部1年) 笠井 佑有(経済学部2年) 小林 由依(農学部2年) 石山 翔子(理学部3年) 江尻 晴菜(人文学部3年) 竹石 悅樹(医学部3年)  
新井 宏典(工学部4年) 漆館 阜海(人文学部4年) 花渕 拓也(教育学部4年) 三浦 瑛美(人文学部4年) 山口 純子(法学部4年)

【職員スタッフ】 村山 佳菜絵(学生支援課) 横尾 一真(広報室)

スタッフ  
募集!!

## 私たちと一緒に新大広報を作っていきませんか!?

新大広報では現在、学生編集スタッフを募集しています。

企画から、取材、記事の作成、編集まで学生が主体となって活動しています。

応募方法 下記のQRコードから新大広報携帯HPへアクセスし、HP内のメールフォームより  
①学部・学年・学籍番号・氏名、②「学生スタッフ希望」と書いて送信してください。



## お便り募集

## 学生スタッフが取材に行きます!

(注)\*新大生が関わっているイベント、団体に限ります。\*新大広報は年4回の発行であるため、取材時期と発行時期は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

投稿方法

お手持ちの携帯電話で右記のQRコードを読み取ると、新大広報携帯HPへアクセスできます。  
新大広報に関するご意見・ご感想もこちらからどうぞ。皆さんからのメッセージをお待ちしています。



## 年末年始の諸注意

年末年始にかけては、忘年会や新年会など飲酒を伴う機会が増えることと思いますので飲酒マナーは必ず守りましょう。

また、帰省などで気が緩み、思いがけない事故や事件に巻き込まれる危険性があります。そのようなことがないよう、冬期休業中も新潟大学の学生であるという自覚を持ち、責任ある行動を心がけ、安全に過ごしてください。

なお、万が一事故等に遭った場合には、速やかに所属学部・研究科の学務係まで連絡してください。土日及び祝日、年末年始は守衛室(Tel:025-262-6028)まで連絡してください。

QRコードが読み取れない場合や、[http://www.niigata-u.ac.jp/mobile/shindai\\_kouhou.html](http://www.niigata-u.ac.jp/mobile/shindai_kouhou.html)

個人情報の取り扱いについて 新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。ご記入いただいた個人情報に変更が生じた場合は速やかに上記アドレスまでご連絡ください。また、同アドレスにご連絡いただくことによって、ご本人に限り個人情報の開示・削除・訂正をもとめることができます。  
※QRコード®は、株式会社デンノーウェーブの登録商標です。

## 【新大広報 Back Number】

[http://www.niigata-u.ac.jp/profile1/100\\_pamph/shindai\\_kouhou.html](http://www.niigata-u.ac.jp/profile1/100_pamph/shindai_kouhou.html)

新大広報のバックナンバーは上記のURLから閲覧することができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新潟大学ホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/>

2013年冬号 [No.189]

編集・発行／『新大広報』学生編集スタッフ

新潟大学学務部・新潟大学広報室

印 刷／株第一印刷所

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用紙へ  
リサイクルできます。